

# 行政視察報告書

令和 7 年 11 月 13 日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員 村山さおり

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 大阪市「こどもの里」行政視察
2. 視察期間 令和 7年11月 5日 (水)
3. 視察場所及び目的  
① 大阪府大阪市 ・ こどもの里 について
4. 調査内容感想等

### ・視察の目的

長きにわたり、西成区で子どもの育ちや子育て中の保護者に寄り添い続けておられる「こどもの里」に伺い、地域や子どもの変化等を伺うとともに、運営の課題等をお聞きする。

### ・視察の内容

平日の昼間だったが、路上で過ごしている人が多く、一見して公的支援が必要な地域ということがわかった。そんな中にある「こどもの里」は48年前に設立され、地域の中で子育てや子育ちを助けてこられた。

理事長からお話を聞く中で、

「助けて」が言えないお母さんたちに寄り添わないといけないと言われていた

こと。また、支援を受けているとそこから抜け出さなくなるのではという質問に「甘えたらいけませんか」と答えておられたことが印象的だった。

子どもの人格形成や様々な習慣が身につくのが10歳までで、そこにもっとお金を使ってほしいと言われていた。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

理事長はせめて中学校区に1か所はこのような場所を作ってほしいと言われていた。

虐待の報告が年々増えているが、西成区は2003年から微増でほぼ横ばいとなっていた。それは虐待につながる前にお母さんたちとつながり、地域で情報共有して虐待防止につながっているからと言われていた。

地域の子どもたちを何とかしなければという大人たちの思いが今につながっている。

「子どもたちのために」で大人たちがつながり、まずはお母さんたちの心と生活の安定のためにできることをやる。それには役所、学校、地域の連携は不可欠と考える。

当市でも官民連携の促進を図り、同時にこのような場所を増やしたい。

まちづくりセンター等、すでに存在する建物の活用の幅が広げられないか考えたい。